

# 島蘭 進/ふるさとと神仏のゆくえ

日本近代の宗教史、精神史および死生学・生命倫理の問題と取り組んできた島蘭先生が、「地域人」の連載で言及し続けてきた福島・水俣の問題を中心に、地域の人々が生き生きと暮らしていくために大切な、ところと魂の問題について語る。近代科学が生み出した、公害・原発の問題についても、「地域人」の特集で水俣取材し、新たな水俣への視点を提示した渡邊編集長とともに考える。



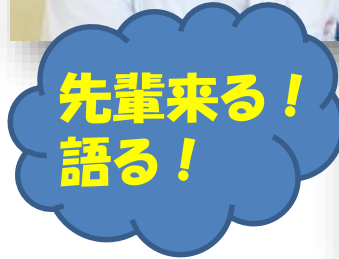
## 講演者プロフィール

### 島蘭 進

上智大学グリーンケア研究所長  
東京大学名誉教授 大正大学客員教授  
1948年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。主な研究領域は、比較宗教運動論、近代日本宗教史、死生学。著書に『宗教ってなんだろう?』『宗教を物語でほどく』『いのちを“つくって”もいいですか?』『愛国と信仰の構造』(中島岳志と共著)ほか。『地域人』に創刊号より「ふるさとと神仏のゆくえ」を連載。

### 聞き手/渡邊直樹

『地域人』編集長、大正学客員教授。1951年生まれ。東京大学文学部卒業(宗教学専攻)。平凡社にて『太陽』を編集。その後、「SPA!」「PANJA」「週刊アスキー」「婦人公論」などの編集長を歴任。2004年から2016年まで大正大学表現学部教授。その間、年刊『宗教と現代がわかる本』を10年間、責任編集。



開催日時:2018年12月6日(木)

開場17:30 / 開演18:00 / 終了20:00(予定)

会場:東京大学駒場キャンパス内 コミュニケーションプラザ北館2階 多目的教室4

最寄駅:京王井の頭線「駒場東大前」東側の東大口より徒歩約5分

参加方法:メールで前日までにお申込みください。

12/6参加希望の旨と「お名前(フルネーム)」「よみがな」を本文に記入し、右記アドレス宛にお送りください。komababook@gmail.com アドレスQRコード→  
当日のご来場順に自由席でご案内します。



※お申込み無しでもご参加頂けますが、立ち見となる可能性がございます。

参加費:無料 定員:80名 関連書籍販売:会場で現金払いにて販売いたします。

主催:東京大学生協駒場書籍部 協賛:『地域人』編集部